

ふじみサラダボール子育て情報

「生活の言葉と AI」

令和元年 5月 8日号

板橋富士見幼稚園



おもちゃとパソコン

生活は、時代と共に大きく変化し、僅か5年・10年前と今を比較しても、AI（人工知能）が人間社会に参入してくる割合が急速に進んでおります。今や味覚も、判断も、AIによって、最も理想とされる回答を我々に伝え、我々はそれを安心して肯定化し、自分の価値観として取り込んでいるのが現状です。

まして、少子化や核家族化が進む中、労働力が低下し、女性の社会進出も著しく、社会構造が変わりつつあります。こうした中、子供と触れ合う機会が段々少なくなり、子供とかかわる時間も質的に変わってきています。

こうした社会変化の中で、今日は、玩具について考えてみましょう。



おもちゃは、昔からある一定の意味を持つ大切な道具です。それは、思考や判断を求める工夫がされていることです。

考える力を常に子供に要求し、子供は虚構の世界を頭の中に空想し、頭の中で、多様な自問自答を「つぶやき」としてもう一人の自分と対話し、楽しむことができます。

つまり、玩具はその子が一人で遊べたり、おもちゃを介して仲間を作ったりすることのできるものなのです。

では、パソコンは、おもちゃになりうるのでしょうか。

パソコンのユーチューブなどは、動画を見ていると突然の変化に驚き、興味や関心を持ってのめりこむ面白さを感じるものですが、一瞬に視覚から消えていくため、思考や記憶を使って何かを思い描き、考える余裕がありません。

また、ゲームやワークは、正解か不正解を選択していく操作を楽しむもので、思考や認知・記憶といった、多様に自分の頭で考えるという行為がとても少ないのです。

遊びの時間を十分に取れない、今の生活の中で最も大切にしてほしいことは、対話です。言葉を豊かに学び取っていくためにも、家族で常に話し合い、しつこいほど関わることが、今求められています。

減りつつある家族団らんの時間を有効に使いたいものですね。ゲーム機やパソコンを有効に使ってこそ、いまの時代に合った生活ではなのでしょうか。上手に取り入れていきましょう。